

気品の岸・美の学園

— 希望の登校、満足の下校 —

校長 山浦 麻紀



サクラ

花言葉・「精神の美」

令和8年4月1日、満開の桜と、元気いっぱいの子もたちのあいさつに迎えられ、さいたま市立岸中学校の正門をくぐりました。4年目となりますが、微力ながら全力を傾注する所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

本日、入学式を挙行いたしました。新入学生187名を迎え、生徒603名、教職員56名で令和8年度をスタートいたします。職員一同、力を合わせて子どもたちの「笑顔で登校、満足の下校」ための教育活動に邁進してまいります。

さて、どのように100年人生 **well-being**（ウェルビーイング）の礎をデザインしていくか。今、学校は、**Society 5.0**時代の社会の中を、心豊かにたくましく生きる子どもを育成することが大切であると考えます。

心豊かにたくましく生きる子とは、一人ひとりが**個を確立**し、**公の発展**に尽くすことのできる人間です。

個を確立するとは、「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する最適解を見つける能力」「豊かな人間性」「健康な心と体」を持った人間を意味します。**公の発展とは**、互いに助け合い、力を合わせて、社会をよりよく発展させていく意欲に燃えた人間を意味します。

そこで、今年度の教育目標は、「真理・感性・実践」と致しました。そして、次のような生徒の育成を目指してまいりたいと考えております。

真理とは : 意欲的に学び、深く考える生徒になろう。

夢を持ち、努力する生徒になろう。

感性とは : 得て不得手を認め合い、温かい心を持つ生徒になろう。

広い視野から、さまざまなよさを発見する生徒になろう。

実践とは : 健康で逞しい生徒になろう。

最適解を見出す判断をし、主体的に行動する生徒になろう。

また、子ども達の教育は、学校という場所でのみ、なし得るものではありません。学校、家庭、地域が一体となって子ども達の教育にあたることが不可欠です。本校の教育活動推進にあたり、保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも折りにふれ忌憚のない御意見と、御理解、御協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

令和八年度 歓迎の言葉

やわらかな春の息吹に、色鮮やかな花びらが舞い、あたたかい春の訪れを感じる頃となりました。この佳き日に、岸中学校に入学される新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心よりみなさんを歓迎いたします。みなさんは今、真新しい制服に身を包み、中学校生活への第一歩を踏み出しました。その喜びとともに、これから過ごす中学校生活に、大きな期待や不安を感じているのではないのでしょうか。二年前、私たち在校生も、みなさんと同じように、不安を抱えながら入学式を迎えました。けれど、今は、支えてくれるたくさんの仲間や先生方とともに、多くのことを学び、自分自身を少しずつ高め、毎日充実した学校生活を送っています。ですから、心配する必要はありません。私たちのことをぜひ頼ってください。

中学校は、学習内容がより深まり難しくなったり、部活動が始まったりと、小学校とはまた違う、様々な経験を積むこととなります。時には悩み、思いがけない壁に直面することもあるかもしれません。しかし、その経験がみなさんを大きく成長させ、学校生活、さらには人生の中で、かけがえのない宝物になっていくことでしょう。岸中学校の魅力は、ここで紹介しきれないほどたくさんありますので、後日行われる新入生歓迎会で詳しく紹介させていただきます。

さて、この機会に、これから始まる中学校生活をよりよく充実したものにするために大切にしてほしいことを二つ、お話します。

一つ目は、「自分から一歩踏み出すこと。」中学校では、新しい出会いや経験が数多く待っています。その中で、教室で隣の人に声をかけたり、部活動の見学に行ってみたり、きっかけはほんの小さな一歩から始まります。最初は勇気がいるかもしれませんが、その一歩が、新しい友達との出会いや、自分の可能性の広がりにつながっていきます。一歩踏み出す勇気を忘れず、様々なことに挑戦していきましょう。

二つ目は、「周りの人を大切にすること。」これからは、多くの人と関わりながら過ごしていきます。今ここにいる仲間達、先輩、先生方。その一人ひとりとの関わりが、あなたの学校生活を彩ってくれます。相手を思いやる気持ちや、感謝の言葉を忘れずに過ごすことで、周りには自然と温かい雰囲気が広がり、築いた友情は、きっと万代不易なものになります。そしてそれは、みなさんが困ったときに支えてくれる、大きな力となるでしょう。

さあ、これから「気品の岸 美の学園」中学校生活の幕開けです。自分らしさを忘れず、この学校での毎日をかけがえのないものにしてください。

最後に、みなさんの歩みが、この学校の新しい歴史をつくっていくことを期待し、歓迎の言葉とさせていただきます。

令和八年度 新入生誓いの言葉

春の暖かい風が感じられる季節となりました。今日、僕たち187名は岸中学校の入学式を迎えることができました。校長先生を始め、先生方、先輩方このような素晴らしい式を行ってくださり、ありがとうございます。

今日から始まる中学校生活には、これまでとは異なった環境による不安や心配もありますが、制服を身に付けて、新しい生活が始まるという喜びと期待を感じています。また、岸中学校の生徒として、「気品の岸、美の学園」という校訓を胸に、礼儀正しく、仲間を思いやる心、そして、どんなことがあっても挑戦することを意識して生活していきたいです。

学習面では、小学校に比べて勉強内容も難しくなり、定期テストなど今までにはなかったことがあるので、一つひとつの授業を大切に、これからの生活にいかしていきたいです。

部活動では、仮入部から始まり、中学三年間楽しく続けることのできる部活動を見つけ、仲間と協力し、互いに助け合い、努力していきたいです。また、先輩からさまざまなことを学び、成長していきたいです。そして、たくさんの行事の中でも、僕が一番楽しみにしている行事は文化祭です。文化祭では文化部の発表や、クラスで協力して優秀賞をめざす合唱コンクールをととても楽しみにしています。なぜなら、クラスのみんなでたくさん練習し、クラスの仲間との絆を深められると思うからです。

小学校での友達と別れてしまい、とてもさみしい気持ちもありますが、新しい挑戦の連続の中で、初めて出会った友達との困難や試練などで辛いことにぶつかることもあるかもしれませんが、保護者の方々の協力が前へ進むための大きな一歩になるので、ぜひ、協力してほしいです。

そして、その先に明るい未来があることを信じて、希望を胸に新しい仲間と支え合いながら、岸中学校の生徒として、誇りと責任をもち、何事にも一生懸命に、取り組んでいくことが誓います。

令和八年四月八日

新入生代表